

**王子物流、T2 の自動運転トラックを用いた商用運行に参画
～印刷に用いられる紙製品の幹線輸送で自動運転トラックを本格利用へ～**

王子物流株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：塩澤 実、以下「王子物流」）および株式会社 T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：熊部 雅友、以下「T2」）は、2026 年 7 月 27 日より、王子物流が取り扱う紙製品を自動運転トラックで定期的に輸送する商用運行を、関東－関西間の高速道路の一部区間で開始しました。



王子物流では、王子グループの各工場から全国の消費地に向けた中長距離輸送でトラック輸送が欠かせない中、「2024 年問題」などに端を発したドライバー不足による輸送力低下を懸念しており、このような課題に対して、輸送モードの多様化による物流基盤の強化や輸送効率化およびドライバーの負荷低減対策を目的とした物流 DX に取り組んできました。

その一環として、2027 年度以降にレベル 4^{*1}自動運転トラックによる幹線輸送の開始を目指す T2 とともに、2025 年 10 月より、レベル 2^{*2}自動運転トラックを用いて、紙製品を自動運転トラックで輸送する実証^{*3}を始めました。

実証は 2026 年 5 月まで計 4 回行い、この中で、王子物流は自動運転トラックの安全性や輸送品質に問題がないことを確認し、この度、実証を経た企業に対し、T2 が定期的な輸送を提供する「商用運行」*4に移行することを決めました。



両社による実証の様子



商用運行で輸送する（王子グループ）商品の一例

商用運行は、2026 年 7 月 27 日より、東京都江東区にある王子物流有明支店などから大阪府大阪市にある王子物流安治川支店などまでの約 510km の区間（レベル 2 自動運転区間*5：東名高速道路・綾瀬スマート IC（神奈川県）～京滋バイパス・久御山 JCT（京都府）の約 420km）で往復し、紙製品を輸送します。

王子物流は、商用運行を通じて T2 の自動運転トラックを本格的に利用し、T2 が実現を目指すレベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービスへの参画も検討してまいります。

*1 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

*2 ドライバーの監視のもとに行われる特定条件下での高機能自動運転

*3 本件に関するニュースリリース：<https://t2.auto/news/2025/1023.pdf>

*4 本件に関するニュースリリース：<https://t2.auto/news/2025/0701.pdf>

商用運行ユーザーインタビュー：https://note.com/t2_auto/m/m536222e3ab17

*5 安全確保が必要な状況や料金所などではドライバーが一時的に運転操作

【会社概要】

■王子物流株式会社

本社所在地：東京都中央区銀座五丁目 1 2 番 8 号 王子ホールディングス 1 号館 3 階

代表者：代表取締役社長 塩澤 実

設立日：1961 年 10 月 12 日

事業内容：倉庫事業、運送事業、海運事業、荷役作業請負業務、通関業ほか

企業サイト：<https://oji-logistics.co.jp/>

■株式会社T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル 1階

代表者：代表取締役 CEO 熊部 雅友

設立日：2022年8月30日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト：<https://t2.auto/>

公式X：https://x.com/t2_auto

公式note：https://note.com/t2_auto

以上